



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場会社名 株式会社 ダイドーリミテッド  
 コード番号 3205 URL <http://www.daidoh-limited.com/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 安江 恵  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 福羅 喜代志

TEL 03-3257-5022

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	19,265	0.5	552	42.6	69	△52.8	297	—
22年3月期第3四半期	19,166	△14.8	387	674.3	146	△42.4	△393	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	8.66	8.61
22年3月期第3四半期	△11.32	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	52,324	24,427	46.3	702.65
22年3月期	57,613	26,284	45.2	758.16

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 24,219百万円 22年3月期 26,061百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
23年3月期	—	20.00	—		
23年3月期 (予想)				23.00	43.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	0.7	650	28.6	450	△20.1	500	—	14.53

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 1社（社名 大都利美特(中国)投資有限公司）、除外 1社（社名

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 37,696,897株 22年3月期 37,696,897株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,228,531株 22年3月期 3,322,553株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 34,413,076株 22年3月期3Q 34,785,287株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外です。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P. 3
2. その他の情報.....	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表.....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書.....	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P. 9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）におけるわが国経済は、政府の経済対策企業収益の改善により緩やかながら回復の兆しが見られますが、依然として雇用・所得環境は厳しく、米国経済の回復懸念や欧州の金融不安など景気の先行き不透明な状況で推移しました。

衣料品業界におきましては、百貨店の売上が前年を上回る月が出てくるなど、明るい兆しが見られるようになってまいりましたが、消費者の生活防衛意識は強く、本格的な消費マインドの改善にはいたらず引き続き厳しい状況下にあります。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の企業理念を基に事業改革を進めております。

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）における衣料品事業の中国工場群におきましては経費の削減・生産の効率化を進めております。消費動向の改善により国内外からの受注が昨年秋以降増加してきておりますが、原料や労務費の高騰による影響もあり厳しい状況が続いております。

衣料品事業のテキスタイル事業におきましては、紳士服の低価格化と販売不振の影響などで低調に推移いたしました。

衣料品販売部門は、オーダーメイドやオンラインストアによる売上増加および9月のシルバーウィーク以降の回復により、売上は昨年同期を若干上回りました。利益面におきましても、経費の削減を進めまし結果、営業利益（本社業務委託手数料を除く）は改善をすることができました。

不動産賃貸事業は、賃料の改定・オフィスビルの賃貸状況等厳しい状況にありましたが、経費の削減を進めました結果、営業利益（本社業務委託手数料を除く）は昨年同期を若干下回りました。

この結果、第3四半期連結累計期間連結売上高は19,265百万円（前年同四半期比0.5%増）、連結営業利益は552百万円（前年同四半期比42.6%増）、組織再編に伴う費用238百万円を計上したことにより連結経常利益は69百万円（前年同四半期比52.8%減）、連結四半期純利益は297百万円（前年同期は四半期純損失393百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して5,289百万円減少（前連結会計年度比9.2%減）して52,324百万円となりました。主な内容は、新規取得による増加がありました減価償却実施額等による有形および無形固定資産の減少974百万円、有価証券の取得499百万円および償還等による減少5,523百万円（3,125百万円は長短借入金の返済に充当）であります。純資産は1,857百万円減少し24,427百万円となり、自己資本比率は46.3%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末におけるキャッシュ・フローは31百万円の支出超過となり、現金及び現金同等物の残高は、6,450百万円となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,626百万円、たな卸資産の増加が372百万円あり、734百万円の収入超過となりました。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出1,979百万円および有形固定資産の取得による支出584百万円がありました。投資有価証券の売却による収入1,585百万円、有価証券の取得による支出499百万円および償還による収入5,523百万円があり、3,870百万円の収入超過となりました。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額1,496百万円、短期借入金の返済による支出6,000百万円、長期借入金の収入4,000百万円および返済による支出1,125百万円により、4,677百万円の支出超過となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内景気は不透明感が払拭されず、依然として厳しい経営環境が続くことが予想され、当社の業績も影響を受けることが見込まれます。

株式会社ニューヨーカーの販売状況が順調に推移しており、第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ平成23年3月期の連結業績予想の数値を変更いたしております。

通期業績見直しにつきましては、売上高26,500百万円（従来予想は25,800百万円）、営業利益は650百万円（従来予想は500百万円）、経常利益は450百万円（従来予想は300百万円）、当期純利益は500百万円（従来予想は400百万円）を見込んでおります。

詳細につきましては、本日別途発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

中国事業における資金の一元管理・管理業務効率化および物流管理の効率化等を目的として大都利美特（中国）投資有限公司を設立し、当社の100%連結子会社といたしました。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに、前連結会計年度末からの重要な一時差異の変動を加味したものを使用方法によっております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ2百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、151百万

円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は190百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,450	6,481
受取手形及び売掛金	3,006	2,891
有価証券	—	5,017
たな卸資産	4,597	4,318
その他	1,990	1,233
貸倒引当金	△61	△32
流動資産合計	15,983	19,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,151	12,132
その他(純額)	3,363	3,541
有形固定資産合計	14,514	15,674
無形固定資産		
	558	372
投資その他の資産		
投資有価証券	18,366	19,242
その他	3,131	2,643
貸倒引当金	△229	△229
投資その他の資産合計	21,268	21,656
固定資産合計	36,341	37,702
資産合計	52,324	57,613
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,784	1,758
短期借入金	3,830	9,820
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,625
未払法人税等	152	267
賞与引当金	26	64
その他	4,028	3,121
流動負債合計	10,822	16,658
固定負債		
長期借入金	7,500	4,000
長期預り保証金	7,754	9,005
その他	1,820	1,665
固定負債合計	17,074	14,670
負債合計	27,896	31,329

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,696	8,746
利益剰余金	13,331	14,529
自己株式	△3,515	△3,637
株主資本合計	25,403	26,530
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,045	△733
為替換算調整勘定	△139	263
評価・換算差額等合計	△1,184	△469
新株予約権	122	130
少数株主持分	85	92
純資産合計	24,427	26,284
負債純資産合計	52,324	57,613



(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	19,166	19,265
売上原価	9,179	9,025
売上総利益	9,986	10,239
販売費及び一般管理費	9,599	9,687
営業利益	387	552
営業外収益		
受取利息	402	346
受取配当金	170	155
その他	95	105
営業外収益合計	668	607
営業外費用		
支払利息	255	229
為替差損	66	84
持分法による投資損失	477	448
組織再編費用	—	238
その他	109	89
営業外費用合計	909	1,090
経常利益	146	69
特別利益		
投資有価証券売却益	260	38
土地売却益	128	—
その他	7	5
特別利益合計	395	43
特別損失		
固定資産除売却損	187	22
投資有価証券売却損	—	568
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	149
その他	89	12
特別損失合計	277	753
税金等調整前四半期純利益	265	△639
法人税、住民税及び事業税	88	156
法人税等調整額	572	△1,083
法人税等合計	661	△927
少数株主損益調整前四半期純利益	—	287
少数株主利益	△1	△10
四半期純利益	△393	297

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	265	△639
減価償却費	1,682	1,626
受取利息及び受取配当金	△573	△501
支払利息	255	229
持分法による投資損益(△は益)	477	448
投資有価証券売却損益(△は益)	△260	530
土地売却損益(△は益)	△128	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	149
売上債権の増減額(△は増加)	262	△167
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,008	△372
仕入債務の増減額(△は減少)	△568	64
その他	△219	△501
小計	2,203	866
利息及び配当金の受取額	488	442
利息の支払額	△124	△136
特別退職金の支払額	—	△186
法人税等の支払額	△201	△393
法人税等の還付額	409	142
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775	734
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△499
有価証券の償還による収入	1,000	5,523
有形固定資産の取得による支出	△588	△584
固定資産の売却による収入	133	—
投資有価証券の取得による支出	—	△1,979
投資有価証券の売却による収入	1,598	1,585
その他	81	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,225	3,870
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	220	△6,000
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△1,250	△1,125
配当金の支払額	△1,505	△1,496
その他	△400	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,935	△4,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	40
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,031	△31
現金及び現金同等物の期首残高	2,630	6,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,662	6,450

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。